

楡

オークス

競馬新聞「楡」 通巻第339号・オークス特集号 2012.5.20発行
 5月20日(日) 東京11R レコード: 2分25秒3 ローブデコルテ (H19年 55福 永)
 発行元: 北海道大学競馬サークル Home Stretch <http://hokudaihs.web.fc2.com/>

8			7			6		5		4		3		2		1		枠馬
18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
ココロチラリ	トーセンベニザクラ	キャトルフィーユ	サンキュアスク	ジェンティルドンナ	サンシャイン	エピセアローム	チエリーメドウサー	ハナズゴール	ヴィルシーナ	ミッドサマーフェア	ダイワズーム	ダイワデッセー	メイショウウズザンナ	オメガハートランド	アイスフォーリス	マイネエポナ	アトムユアーズ	
牝3	牝3	牝3	牝3	牝3	牝3	牝3	牝3	牝3	牝3	牝3	牝3	牝3	牝3	牝3	牝3	牝3	牝3	性別
55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	斤量
横山典	津村	福永	北村宏	川田	柴田善	浜中	森泰	田辺	内田博	蛸名	三浦	武士沢	武豊	石橋脩	松岡	吉田隼	ウィリ	騎手
...	▲	○	◎	△	...	△	八巻
...	...	○	...	△	▲	☆	◎	△	島田
...	...	○	...	▲	△	△	◎	あず
...	▲	△	◎	○	△	鎌之原

オークス傾向分析/八巻

改修後の阪神競馬場で行われた桜花賞で3着以内に入れなかった馬の巻き返しは2例だけで、一頭は桜花賞で1番人気も調整失敗で負けての臨戦だったトールポピー、もう一頭はウオッカとダイワスカーレットの桜花賞1着2着が出なかったときのローブデコルテ。今年はそのようなケースはないから桜花賞組はジェンティルドンナ、ヴィルシーナ、アトムユアーズの3頭だけでいい。

トライアルで一番好走例が多いのはフローラS。ここ2年は桜花賞組より3着以内にきた馬は多い(桜花賞2頭フローラS3頭)。スイートピーS、忘れな草賞からの臨戦でも好走例があるので注意したい。

ただアトムユアーズはどうしても1400ベストでなんとか1600もこなせるくらいにしか見えない。▲ジェンティルドンナはあっさり勝たれることもあるかもしれないが乗り替わりが不安。距離延長も歓迎のクチではない。対して◎ヴィルシーナはもともとオークスを意識していた馬。レースぶりからも距離延長は歓迎だろう。東京コースを経験済みなの大きい。

近年好走馬が出ているフローラS組だが、レースレベル自体はそれほど高いものではない。それまで勝ち上がるのにすら苦労していた△ミッドサマーフェアがちぎって勝ったレース。確かに気性の改善などでまともに走れるようになった面はあるだろうが、桜花賞組と比べて能力が高いとは思えない。△ダイワデッセーはそのミッドサマーフェアにちぎられた1頭だが、前走は休み明けでこれだけ走れた。上積みも見込める。

ステップにNHKマイルを使った馬はあまりいないが、チューリップ賞での勝ちっぷりが光る○ハナズゴール。スローペースの上り勝負になればこの馬に分がある。勝ちきるところまで考えたい。

メンバーの一言

あず

本命、アトムユアーズ。桜花賞ではジェンティルドンナには届かなかったもののしっかりと脚を使っていた。ここ最近の成績も安定している。距離が延び、過酷な戦いとなるであろうオークスだからこそ、この馬の堅実なところが生きてくるだろう。鞍上のウィリアムズにも期待だ。

島田

◎ダイワズーム○キャトルフィーユ▲ヴィルシーナ
 △アイスフォーリス △ジェンティルドンナ☆ミッドサマーフェア

有力馬の落とし穴

ジェンティルドンナ→1600m以外出走経験なし
 ヴィルシーナ→前走上がり 3F11 番目は瞬発力不足
 ミッドサマーフェア→「死の馬番」過去26回(0-0-2-24)

3頭とも過去の結果から照らし合わせるとかなりのマイナス要素が見られる。とはいえ、オークスまでは距離などの適正よりも素質がものをいうレースで、実績馬は馬券的に捨てられない。そこでおいしい馬券にするためにも、1着を狙える穴馬2頭に◎と○。いずれも桜花賞には出ていないが前走のOPを勝っており、どちらも勝負付けするにはまだ早い。中でも東京で力強く差し切ったダイワズームが一步リード。